

知事とジョン・コーツ I O C 調整委員会委員長と面会後のぶら下がり（メモ）

日 時 令和元年10月25日（金） 16時59分～17時02分
場 所 都庁第一本庁舎 7階ホール

【記者】 よろしくお願ひします。先にまず代表幹事の方から2問聞かせていただきます。今の会談ですけれども、コーツ委員長と結論なり合意なり得られたのでしょうか。

【知事】 いえ、今回の提案の一端を伺ったということです。最終的には、やはり調整委員会の方で話をしましょうということになりまして、今日はそこまであります。具体的に色々なお話を伺いました。ドーハの話、それから暑さ指数の話などなど伺ったところです。また、それについてはですね、説明を聞いたということでもあります。

【記者】 知事の方からは、引き続き当初の計画通り、やはり東京で開催ということをお求められたと思うのですが、これについてコーツ委員長の方はどうでしたか。

【知事】 そうですね。例えば I O C とすれば、時間を早めて、早朝ですね。などについては、様々な理由で難しいというようなお話がありました。今5時半が、競歩の50キロで一番早いかと思いますが、例えば取材用のヘリコプターが飛ばないのではないかと色々な話がありました。私が記憶するのは、ホノルルマラソンは朝5時からスタートですよ。いろいろ課題はあるかもしれませんが、東京としまして、これまでの様々な対策と、それプラスアルファの部分で考えたいと思いますが、いずれにしても、調整委員会のほうで話すことになろうかと思ひます。

【記者】 確認ですが、今日コーツさんが縷々（るる）説明した、札幌が良いという、その理由について知事は納得されましたか。お話を聞いて。

【知事】 いえ、基本的にこれまで重ねてきた東京での対応策、これで、ついこの間まで I O C の皆さま方からお墨付きをいただけてきたものでありますので、この意味では自信を持っております。

【記者】 各社さん、どうぞ。

【記者】 会談の中で、もし札幌に移転した場合に費用負担はどうするかと、コーツ委員長から説明はありましたでしょうか。

【知事】 それはどうぞ、この後、ゆっくりお聞きになったらいいと思ひます。

【記者】 知事、すみません。10月3日にバッハさんは、東京の対策を高く評価していたのがなぜこうなったのかと、そこのプロセスについてご説明はあったの

でしょうか。

【知事】説明はありましたけれども、少々分かりにくかったですね。

【事務方】よろしいでしょうか。

(以上)